

## 日曜日開会に多くの市民が傍聴

平成22年3月定例会は、日曜日の開会となりました。初日は、市長の施政方針とこれに伴う質疑が行われ、5名の議員が質問に立ちました。

また、市長から提出された議案23件、諮問1件について2月21日から3月15日までの23日間にわたり審議が行われました。そのあらましをお知らせします。

## 3月定例会 報告

わこう

No. 68  
2010

# 市議会だより

平成22年5月1日発行  
編集/和光市議会 議会運営委員会  
☎ 048-464-1111(代)

http://www.city.wako.lg.jp/home/shigikai.html

## 市長の施政方針に対する質問

### 公明党

山口慶子

Q 市内商工業の振興を図る「産業振興計画」の策定と市民参加のあり方について。

A 「産業振興計画」は、今後の産業の基本的な方向性、重点方針、重点プロジェクト等の取り組みを策定します。また、市民参加としては、産業振興計画策定委員会に公募の委員の参画を予定しています。

### 日本共産党

熊谷二郎

Q 個人市民税の減収も避けられない見込みとのことだが、その要因は。

A 個人市民税減収の要因は、一昨年の世界的な金融不安を背景とした企業収益の悪化により、給与所得を中心とした個人所得が落ち込むことが主たる減収の要因と認識しています。

### 緑風会

堀文雄

Q 平成22年度単年度収支予想について。

A 平成22年度については、翌年度に繰り越すべき大きな事業がないことから、昨年度のように歳計剰余金が5億円を下回るような事態にはならない可能性が高いと見込んでいます。また、単年度収支も赤字に転じることを見込んでいます。

## 市長の施政方針 選択と集中による 緊縮型の予算編成

市長は、平成22年度の施政方針で、これまでにない厳しい現状を踏まえ、身の丈にあった選択と集中型の予算編成へと転換していくと述べました。



▲施政方針について答弁する松本市長

### 新しい風

井上航

Q 市民が選んだマニフェストの位置づけ、またその優先度の見きわめの基準について。

A マニフェストは、選挙で示された最も新しい民意の一つの形であると位置づけています。しかし、優先度の見きわめは、多くのニーズと同様の手続で執行を進めることで行財政の規律を守りつつ、その実現に努めます。

### 和光市民ネット

並木修二

Q 市職員人件費の圧縮について。

A 組合と話し合ってきた事項もありますが、具体的に前に進む状況ではありませんので、今お示しできる状態でないというのが現実です。

## 主な議案

国民健康保険税条例の一部を改正する条例を定めることについて

今回、国民健康保険税の課税限度額を改正するもので、基礎課税額を41万円から47万円に、後期高齢者支援分を11万円から12万円に、介護納付分を7万円から10万円に、それぞれ引き上げるものです。

学校建設基金条例を定めることについて

今回、新たに設置する学校建設基金は、新設校の建設を行うため資金を積み立てるためのもので、

子ども医療費助成に関する条例を定めることについて

通院は12歳になる年度末まで、入院は15歳になる年度末までの医療費について助成するものです。ただし、全額市の予算で行うことから、市民税、固定資産税、国民健康保険税、保育料などを完納していること、市内在住年数など、一定の条件を満たしている方を対象としています。

## 平成21年度一般会計補正予算可決

会計名	補正額	補正後の総額	
一般会計	741,366	22,671,268	
特別会計	国民健康保険	△20,991	6,063,631
	後期高齢者医療	8,398	458,413
	介護保険	65	2,512,179
	下水道事業	△44,000	1,264,130



▲開会日の日曜日には多くの傍聴者が来場しました

**人事案件**  
●人権擁護委員に、中西輝明氏の任期満了に伴い引続き同氏を推薦することについて適任としました。  
●和光市教育委員会委員に、富澤義宏氏を任命することについて同意しました。

## 議長報告

### 予算計上についての指摘

議会と執行機関(市)がそれぞれの役割を發揮していくには、お互いの立場を自覚し、執行するように地方自治法で定められています。予算案は執行機関の事業活動を数字と説明をもってあらわすことで、議会及び市民は事業計画の目的を知り、議会は採決をする目的とします。

しかし、大和中学校体育館工事設計業務委託料は予算案提出時には最終決定がなされておらず、法に定めた予算説明責任がなされていません。予算に疑念を抱き、議会軽視ととられかねません。

議会が議決機関として審議できる予算計上が市民重視につながりますので、今後はこのようなことが二度とないよう市長に対し強く指摘しました。

## 平成22年度当初予算可決

慎重審議の結果、平成22年度当初予算を以下のとおり可決しました。

(単位:千円)  
△はマイナス

会計名	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減率(%)	
一般会計	21,035,000	20,445,000	590,000	2.9	
特別会計	国民健康保険	6,229,841	5,762,511	467,330	8.1
	後期高齢者医療	479,562	412,815	66,747	16.2
	老人保健	5,912	3,896	2,016	51.8
	介護保険	2,457,014	2,282,999	174,015	7.6
	下水道事業	1,179,407	1,308,130	△128,723	△9.8
計	10,351,736	9,770,351	581,385	6.0	
総計	31,386,736	30,215,351	1,171,385	3.9	
水道事業会計	収益的支出	1,318,702			
	資本的支出	318,271			



3月5日から10日までの4日間、市政に対する一般質問が行われ、今回は15名の議員が発言しました。議員の質問の概要は次のとおりです。詳細な質問及び市長以下関係部長の答弁は、5月下旬、市ホームページで見ることができます。

(掲載は発言順)

### 農地法改正について

並木修二（和光市民ネット）

問・農地法改正が和光市農政に与える影響について。

市民環境部長・平成21年12月施行の農地法は、農地転用の厳格化と農地賃借の規制緩和という2つの方向で、農地の有効利用の促進を目指すものです。農業委員会と連携を密にしながら優良農地の確保に積極的な役割を果たしていきます。

また、農地を持つ多面的な付加価値は、まちづくりの観点にも大きく寄与するものと考えています。

このほか、大規模事業検証会議、資金管理体制、市単独事業、滞納問題、市政対話集会、市内循環バスなどの質問をしました。



### 落札率の高止まりについて

須貝郁子（新しい風）

問・近年の入札は、設計価格に張り付いた高い落札率となっている。また応札者が少なく競争性が図られていない。随意契約の小規模工事は、ランクの低いところに出すべきではないか。

総務部長・設計金額が実勢価格に近ければ、落札率が高くても問題にはならないと考えています。一般競争入札については、平成22年度から要件を変え範囲を拡大していきます。随意契約については、緊急性、地域性等を考慮していますが、今後契約制度研究会等でさらに協議していきます。

このほか、小・中学校施設管理、廃棄物対策、障がい者福祉について質問をしました。

### 学校給食について

山本軍四郎（社会民主党）

問・マーガリン等に含まれるトランス脂肪酸への規制がないのは先進国で日本だけ。そこで、学校給食で使用している種類と商品名、また、食用油一斗缶（約18ℓ）の価格と種類（名）について伺う。

教育長・本市の学校給食では、調理用にマーガリン等は使用していません。また、食パン等に塗布するマーガリンの使用も控えております。主食のパン等の原材料であるマーガリン等については、低トランス脂肪酸のマーガリンが導入されています。食用油の種類はオリーブ油、ゴマ油、米油です。米油は1斗缶で3,700円（税抜）となっています。



### 国民健康保険税滞納者の入浴・宿泊補助は

堀文雄（緑風会）

問・国民健康保険特別会計は医療費の増加、積算過誤等があり、厳しい市の一般会計から平成21年度に約8億1千万円、22年度に約8億5千万円を繰り入れている。このような中、国民健康保険税滞納者の入浴や宿泊補助の利用はあるのか。あるとすれば、今後、収納対策を含めどのように対応するのか。

保健福祉部長・平成20年度の国民健康保険税滞納者の補助利用者数は、入浴補助申請者1,201名のうち44名、宿泊補助申請者364名のうち5名でした。今後は、公平性の観点から窓口でチェックして収納を含め適切に対応します。

このほか、市民保養所のあり方、白子川水辺再生事業、市民葬祭について質問をしました。

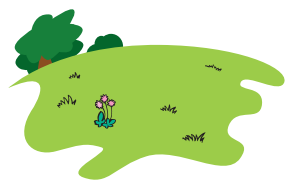
### アーバンアクア広場について

齊藤秀雄（緑風会）

問・アーバンアクア広場（終末処理場施設の上部利用）に、平成22年度予算が616万円計上されているが、除草作業中心の費用であり、このままでは市民が利用できる状況にならない。広場等として開放してはどうか。

建設部長・この事業は、大規模事業検証会議の対象になったため、検証会議の報告と市民意見募集の結果を参考に市として決定することとしています。

このほか、収納状況、荒川河川敷の砂利道及び駐車場の整備について質問をしました。



### 子宮頸がん予防ワクチンの公費助成早期実現を

上野君子（日本共産党）

問・子宮頸がんを予防するワクチンが開発され、日本でも去年末に承認・販売される中、自治体が次々に公費助成を開始している。和光市でも公費助成の早期実現を。

保健福祉部長・子宮頸がん予防ワクチンのほかに、ヒブワクチンや小児肺炎球菌、高齢者肺炎球菌など予防接種を推進したいワクチンがいくつかありますので、これらのワクチンも含め、今後、市の財政状況等を勘案し、助成について検討しています。



このほか、総合福祉会館の今後の運営、障害者自立支援法の現状、大規模災害時のライフライン、循環バスなどについての質問をしました。

### 思春期の「ライフスキル教育」プログラムの導入を

村田富士子（公明党）

問・学習指導要領では「生きる力」をはぐくむことがねらいとなっているが、よりよく生きるために必要な技術的能力を身につけることに有効な「ライフスキル教育」を市内小中学校の授業に導入しては。

教育長・市では、児童・生徒の発達段階に応じたライフスキルの構築に向けて、さまざまな分野の教育活動を密接に関連づけて取り組んでいます。また、提案いただいた取り組みは、校長会、市PTA連合会との連携の中で検討するとともに、今後とも健康で安全な生活を送る実践的態度の育成に積極的に努めます。

このほか、赤ちゃんの駅設置、訪問型子育て支援ホームスタートなどの質問をしました。

## 委員会審議

今回、委員会に付託されたものを紹介します。付託とは、議案の審査を本会議の前に先立って、議員が構成する各常任委員会に委ねることです。

市長は「保育料の減免基準表を参考にし、リストラ、病気、災害などで収入が著しく減った場合には助成します。運用に当たっては生活実態を確認します。分納については、急激な生活上の変化によって、これまで果たせた義務が果たせなくなった場合、認めていきます」と答弁しました。

本案に対しては「助成対象の子どもが等しく無料で受診できるようにするため、完納条件についてはなくすべきである」との修正案が提出され、修正案は賛成多数で否決。原案は、賛成多数で可決されました。

### 文教厚生常任委員会

#### 議案第17号

平成22年度和光市一般会計予算中の大和中学校体育館の工事設計費について

教育委員会は改築を求めているが、改築、耐震工事、どちらにでもとってくださいう子算の出し方は聞いたことがない。

市民に対してもどちらでもよいと示しているのと同じこと。なぜそういう混乱を来すような形で提案することになったのかなど質疑がありました。



広沢小学校の視察

#### 議案第11号

和光市子ども医療費助成に関する条例を定めることについて

市税の完納条件を付すことに審議が集中しました。

完納条件が今後の市の基本方針として決定したということか、段階的な実施は考えなかったのかなど、分納する人への配慮はなど質疑がありました。

議案第17号は継続審議となり、その後、審議未了となっていた中学校防災施設整備について審議を行いました。

市長から「政策会議を開催し、議論した結果、大和中学校体育館については「建てかえ事業として、早急に実施する」との結果になりました」と報告がありました。

委員からは「教育委員会は一貫して、体育館の面積を広げる必要があると言っていた。大規模事業検証会議では、財政面から箱物はいかがか、という議論が先行していた。今後、大規模事業検証会議を実施する場合、資料の提供と説明のあり方を検証する必要がある」との意見がありました。

採決の結果、賛成多数で議案第17号は可決されました。

## 越戸川の水辺再生工事期間における市民の動線の確保を

熊谷二郎（日本共産党）  
問…今、谷中川と越戸川では、県の「水辺再生100プラン事業」による護岸工事が行われている。この区域には、上流から順に無名橋、谷津橋、下谷津橋の3本の人道橋があり、関係住民の生活や通学路に利用されている。工事期間中の市民の動線の確保について伺う。

建設部長…この事業では、護岸の整備と谷津橋、下谷津橋のかけかえが予定されています。県からは、橋は一方の通行を確保した上で工事を進めるので、工事期間中は利用者に迂回をお願いすることとなりますが、通学路を含め安全な通行を確保すると聞いています。

このほか、全国学力テストの参加中止、教育費の保護者負担軽減、後期高齢者医療制度の廃止などの質問をしました。

## 和光市「非核平和都市宣言」の制定を

佐久間美代子（日本共産党）  
問…核兵器廃絶の高まりは世界的に広がっており、市政40周年の今年、和光市非核平和都市宣言を制定すべき。近隣3市は20年以上前に宣言を行い、県内未宣言都市は5市のみ。

今年行う長崎での被爆体験をされた方の講演会、音楽会やパネル展示を和光市非核平和都市宣言制定の記念事業としてはどうか。

企画部長…非核平和都市宣言につきましては財政的に負担がからない方法で検討していきたいと考えております。また、平和について諸都市と連携を図るという意味で平和市長会への加入も検討しており、市として果たすべき役割を着実にこなしていきたいと考えています。

## 携帯電話リサイクルの推進について

斉藤克己（公明党）  
問…不要になった携帯電話を回収する実証事業として経済産業省で「たんすケータイあつめたい」が2月末まで実施され、金22キロ、価値約7、400万円相当が回収されました。和光市の携帯電話リサイクルについて伺う。

市民環境部長…現在、市の分別方法を記載したパンフレットでは、携帯電話はその他ごみとしていますが、原則として販売店に返すこととしています。また、回収ルートへの連絡方法の掲載や啓発については、関係する機関と調整した上で検討していきたいと思っております。

このほか、窓口サービス、犬の登録率アップについての質問をしました。

## 学校建設に向けて、市の総力を結集すべき

井上航（新しい風）  
問…新倉・下新倉地区への学校新設に向けては、財源・人材・情報などをすべてを結集させて、少しでも早い実現を。また、今後の推進体制について伺う。

企画部長…関連する10課の課長等を委員とする「(仮称)学校建設事業検討委員会」を平成22年度当初に設置し、学校建設事業を特命とする職員を配置する予定です。

市長…学校建設は、和光市にとって大きな事業です。単に学校を建てるといふことではなく、地域の核となる公共施設として、全庁的に取り組んでいきたい。

## 地域主権と危機管理の視点から「安全・安心」の行政運営について

西川政晴（新しい風）  
問…地域主権が進む中、地域自治体が独自の行政運営を行うためには危機管理の意識が必要である。職員の不祥事や国民健康保険特別会計の問題など行政運営における危機管理、また自然災害に対する危機管理についてどのようにとらえているか。

総務部長…行政運営上の危機管理については綱紀粛正の周知徹底を図るとともに、事業チェック及び踏襲型の事業を見直し、庁内組織の業務における確認・照合体制整備方針を策定しました。また、自然災害時の要援護者対策や急傾斜地対策を進めるとともに、自治体を取り巻くリスクに対し危機意識の啓発や対応可能な体制整備を図っていきたいと思っております。

## 滞納を理由にした子ども医療費助成のあり方を問う

吉田けさみ（日本共産党）  
問…市民として果たすべき義務と子どもの平等の権利とを混合して考えてはならないのでは。市長…今の財政力、税の状況を総合的に勘案して、市税等の完納要件を設定しました。しかし、助成対象外となった場合も上乗せ分のみが自己負担となることから、子どもの人権を直接侵害することにはならず、侵害することにはなりません。

このほか、保育園と学童保育クラブの待機児童の実態と対策、高齢者の地域参加と支援、歩道の安全性の確保についての質問をしました。

このほか、保育園と学童保育クラブの待機児童の実態と対策、高齢者の地域参加と支援、歩道の安全性の確保についての質問をしました。

## 生産緑地追加指定基準の見直しを

阿部かをる（公明党）  
問…土地区画整理事業地内には多くの農地があるが、急激な宅地化により、営農が厳しい現状である。都心に近い緑豊かなふるさとの一翼も担い、災害時には避難場所としても指定ができる農地を守るため、土地区画整理事業地内の農地も生産緑地として追加指定できるようにすべきでは。

建設部長…昨年8月に農業委員会から生産緑地の追加指定基準見直しの要望をいただいておりますので、今年度中に市の基本方針を定め、各特定地区の内容を精査・研究し、要綱を定めて追加指定基準をつくっていきたくと考えています。

このほか、介護保険制度、随意契約における検査事務手続などの質問をしました。

## 市民参加条例を適応しなかった新たな条例制定

荻野比登美（和光市民ネット）  
問…子どもの医療費無料化の年齢拡大条例には、給付条件として税等の完納条件がつけられている。新たな市民サービスの制限制度となるが、広く市民の意見を求めなかったのはなぜか。政策会議では誰からも意見がなかったのか。

保健福祉部長…市民参加条例は、住民の権利を制限したり、義務を課すようなものについて市民参加の対象としています。今回は助成制度であること、また、新年度当初からの実施を目標としていたため、条例による市民参加を行いませんでした。

このほか、市民協働について、新設校建設に向けて、図書館についての質問をしました。

### 総務常任委員会

#### 議案第12号

平成21年度和光市一般会計補正予算（一部）歳入では、減収補てん債、国・県の生活保護費負担金について、歳出では、財政調整基金の積み増しと公共施設整備基金への繰戻しについて、質疑がありました。

#### 議案第17号

平成22年度和光市一般会計予算（一部）歳入では、市民税の落ち込み・固定資産税の横ばいの要因について、臨時財政対策債の今後の見通しと財政の健全化等について、歳出では、事業仕分け結果と予算計上、平和事業、税金等のコンビニ収納、子ども医療費助成に伴う完納条件にかかる個人情報保護、駅近くへの期日前投票所の設置、消防署白子分署の耐震診断と今後の配置等、職員の退職・採用及び給与等について、質疑がありました。

#### 議案第23号

平成22年度和光市水道事業会計予算  
水道事業の現状と水道料金の見直しについて審査が行われ、各議案とも可決されました。

### 市民建設常任委員会

#### 議案第12号

平成21年度和光市一般会計補正予算（一部）地域活性化・きめ細かな臨時交付金を前倒しした事業等についての質疑がありました。

#### 議案第17号

平成22年度和光市一般会計予算（一部）歳出では、コミュニティセンター・地域センターの安全対策、契約保養所の借上状況、市内循環バスの運行、和光北インター地域土地区画整理事業等についての質疑がありました。

#### 議案第22号

平成22年度和光市下水道事業特別会計予算  
下水道使用料や委託料等について審査が行われ、各議案とも可決されました。



